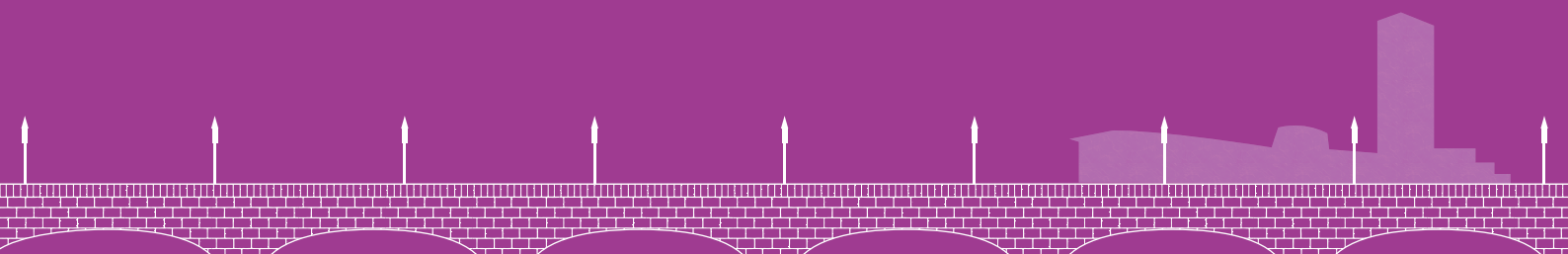




第2章

G20新潟農業大臣会合関連の取り組み



1. 開催の支援

(1) ボランティアの活躍

- 期 間 2019年（令和元年）5月10日（金）～12日（日）
- 場 所 朱鷺メッセ、新潟駅、新潟空港

新潟を訪れる参加国・国際機関の関係者のおもてなしを行うボランティアを募集し、84人が新潟の魅力のPRやおもてなしなどを行いました。



新潟駅で李長官（韓国）をお出迎えするボランティア



花角知事、中原市長と新潟の農産品・農産加工品をPR



新潟空港でクリッサダー大臣（タイ）をお出迎えするボランティア



朱鷺メッセ正面玄関でテレザ・クリスティーナ大臣（ブラジル）をお出迎えするボランティア



朱鷺メッセ 31 階 Befco ばかうけ展望室では、新潟市立宮浦中学校生徒とともに新潟の景観について説明



コーヒーブレイクでは、新潟のスイーツの紹介などで活躍



歓迎レセプションでは、参加国・国際機関の関係者を新潟の食でもてなし



新潟駅でのお見送り

(2) 子どもたちの活躍

① 歓迎セレモニー

- 実施日 2019年(令和元年)5月11日(土)
- 場所 朱鷺メッセ1階正面玄関、2階エスプラナード

朱鷺メッセ1階正面玄関の歓迎パネル^(※)前及び2階エスプラナードで、新潟市立万代長嶺小学校の児童25人と新潟市立宮浦中学校の生徒18人が、参加国・国際機関の代表らをお出迎えし、花束を贈呈して歓迎しました。



サルフォード副総裁補 (IFAD) のお出迎え (正面玄関)



ビジャロボス大臣 (メキシコ) のお出迎え (エスプラナード)



子どもたちとハイタッチをするホーガン委員（EU）



チェンティナーイオ大臣（イタリア）を花束で歓迎



アムラン大臣（インドネシア）を花束で歓迎



子どもたちと握手をするウルフ事務局長（WTO）

※歓迎パネルとは

地元・新潟全体で歓迎していることを会合参加者にお伝えするとともに、新潟の県民・市民に会合を身近に感じていただくことを目的に、笑顔の写真のモザイクアートで歓迎パネルを制作し、会場となる朱鷺メッセ1階正面玄関に設置しました。

協議会が2018年（平成30年）10月から2019年（平成31年）3月にかけて実施した「G20モザイクアートプロジェクト」で集まった笑顔の写真等約1,500点を用いて制作しました。



幅約10メートル×高さ約2.7メートル



モザイクアート拡大



モザイクアート部分（新潟の美しい風景と「NIIGATA」の文字）

②パノラマガイド

- 実施日 2019年（令和元年）5月11日（土）・12日（日）
- 場所 朱鷺メッセ 31階Befcolばかうけ展望室

新潟市立宮浦中学校の生徒とボランティアが協力して、眼下に広がる新潟の景観や歴史などについて参加国・国際機関の関係者などに説明しました。



参加国・国際機関の関係者（ドイツ）をガイド



参加国・国際機関の関係者（EU）をガイド

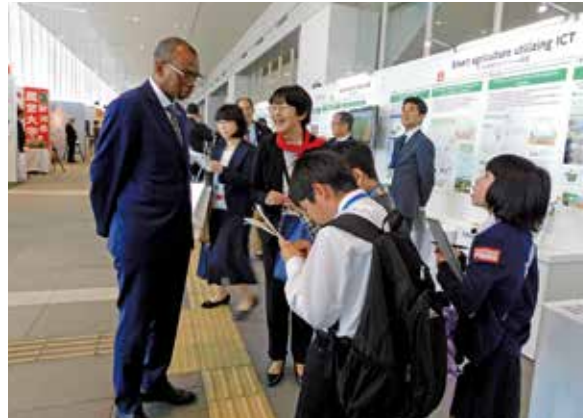
③ふむっ子記者 G20 取材班

- 実施日 2019年（令和元年）5月12日（日）
- 場所 朱鷺メッセ 2階エスプラナード など

子ども目線で G20 について取材・情報発信をする「ふむっ子記者 G20 取材班」が会合の様子を取材しました。（(株)新潟日報社とのタイアップ企画）



グスマン参事官（チリ）へのインタビュー



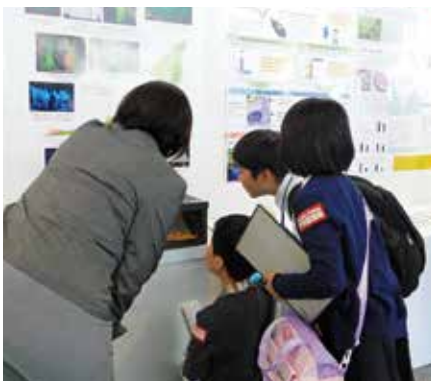
バルデ大臣（セネガル）へのインタビュー



ボランティアと協力して展示出展者へ取材



アフターツアーで本会議場を取材



会場展示の取材

(3) 新潟到着・歓迎プログラム

- 実施日 2019年（令和元年）5月9日（木）～11日（土）
- 場所 新潟駅、新潟空港

新潟駅や新潟空港に到着した参加国・国際機関の代表らを、にいがた観光親善大使とマスコットキャラクター（トッキッキ、花野古町・笹団五郎）、ボランティアなどが出迎え、花束を贈呈して歓迎しました。



トンプソン次官補（オーストラリア）を花束贈呈で歓迎（新潟駅）



グッドウィル担当大臣（イギリス）がにいがた観光親善大使、トッキッキと記念撮影（新潟駅）



にいがた観光親善大使、ボランティアによる歓迎（新潟駅）



パーデュー長官（アメリカ）を花束贈呈で歓迎（新潟空港）



ビボー大臣（カナダ）がにいがた観光親善大使と記念撮影（新潟空港）

(4) 会場装飾・展示

■ 場 所 朱鷺メッセ正面玄関、アトリウム、エスプラナード など

食や農を中心とした新潟の魅力を装飾、展示、装花で彩り、会合関係者に発信しました。

<展示>



300年の歴史を誇る白根の大風合戦の様子を再現し会合関係者をお出迎え



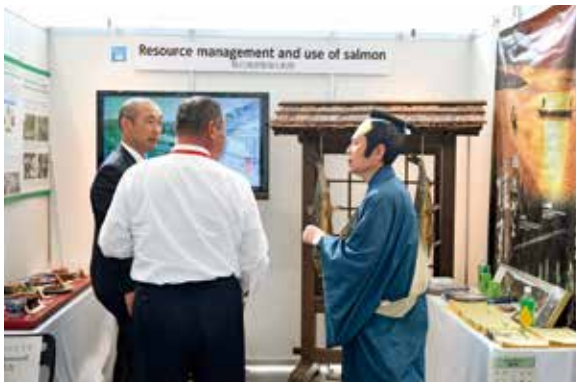
白根大風合戦 VR を会合関係者が体験



会合テーマに合わせ北前船によるバリューチェーン相関図も展示



特別仕様ブースを設置し新潟の農業・食の取り組みを体系的に紹介



「鮭の資源管理と利用」ブースでは「種川の制」の青砥武平治に扮して説明



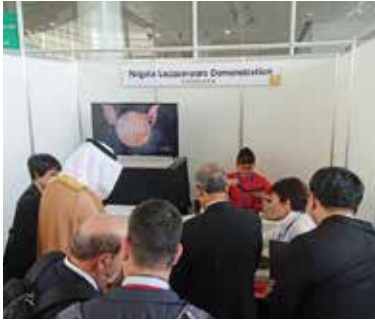
高島副大臣による「農業に取り組む人材の育成（新潟県農業大学校）」ブース視察



県内の農業に関する遺産を紹介



錦鯉の説明を受ける中原市長



新潟漆器の実演を視察する会合関係者



多くの実物展示を配置したものづくりブースの様子



JETRO 新潟の協力を受け、新潟清酒を PR



バイ会談室には世界的に活躍した写真家、天野尚さんの作品を展示
(濱村政務官とソティジヨス総局長（スペイン）のバイ会談)



県市概要ブースでは水滴で文字が浮き出るウォーターサインを設置

<試食・試飲>



エスプラナードの試食試飲提供ブース



展示ブース視察で花角知事と中原市長が新潟の農産物を PR



展示ブース視察で新潟産トマトを提供



クレクナー大臣（ドイツ）へ、ルレクチエジュースを提供



「NIIGATA 越品」ブースで試食する会合関係者



プレスセンターにも試食試飲提供ブースを設置

<装花>



チューリップやアザレアと歓迎パネルで会合関係者をお出迎え（1階正面玄関）



新潟の風景（里山、棚田）をイメージした装花
（1階エントランスホール）



レセプション会場の雰囲気と調和した装花



和をイメージした装花 (3階ホワイエ)



卓上に盆栽風の鉢花が飾られたバイ会談室



日本の花文化をイメージした装花 (4階本会議場前ホワイエ)



華やかな装花が施された吉川大臣の控室

(5) 協議会からの贈り物

会合の記憶や新潟での思い出を心に留めてもらうため、参加国・国際機関の代表らに記念品を贈呈しました。

<参加国・国際機関の代表への記念品>



花角知事贈呈記念品
(純チタン製2重タンブラー「薫創り」2個セット、
純チタン製ストロー兼マドラー「Straler」6本セット)



中原市長贈呈記念品
(新潟漆器「麿銀塗・丸平皿」2枚組)



吉川大臣贈呈記念品
(純銅製アイスクリームスプーンとバターナイフの
カトラリーセット)

<参加国・国際機関の関係者等への記念品>



純チタン製ストロー兼マドラー「Straler」、亀田綿風呂敷

(6) ホテル客室でのおもてなし

- 実施日 2019年(令和元年)5月9日(木)～12日(日)
- 場所 参加国・国際機関の代表が宿泊したホテル客室

新潟を訪れる参加国・国際機関を歓迎し、新潟のおもてなしを感じていただけるよう、参加国・国際機関の代表が宿泊したホテル客室において、県内37小中学校の児童・生徒が手作りした「ウェルカムメッセージ」や、新潟の春の味覚である特産品のイチゴ「越後姫」を提供しました。



カード作成の様子(上越市立大手町小学校)



カード作成の様子(新潟市立内野小学校)



ウェルカムメッセージカード



37枚のメッセージカードは1枚のボードにして会場でも披露



参加国・国際機関の代表が宿泊したホテル客室に中原市長からのメッセージカードと県内小中学生が手作りしたウェルカムメッセージカードを添えて、新潟への来訪を歓迎
ANA クラウンプラザホテル新潟（上）、月岡温泉白玉の湯華鳳（中）、ホテル日航新潟（下）

(7) 新潟出発・送迎プログラム

- 実施日 2019年(令和元年)5月12日(日)・13日(月)
- 場所 新潟駅、新潟空港

新潟駅や新潟空港を出発する参加国・国際機関の代表らを中原新潟市長、ボランティアなどが見送りました。



スハウテン大臣(オランダ)の見送り(新潟駅)



中原市長、ボランティアなどによる見送り(新潟駅)



グラツィアーノ事務局長(FAO)の見送り(新潟空港)

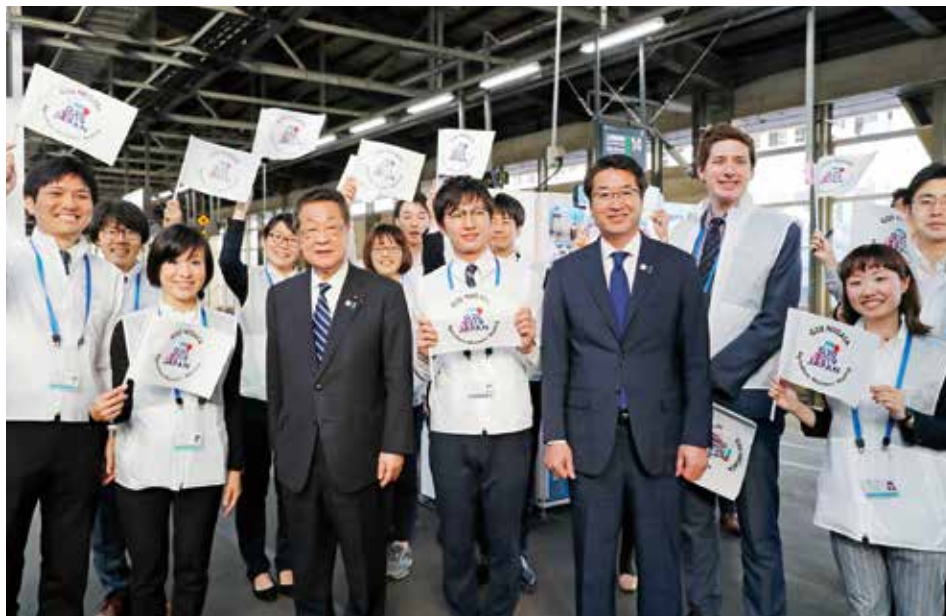
(8) ボランティアとの記念撮影

- 実施日 2019年(令和元年)5月12日(日)
- 場所 朱鷺メッセ1階エントランスホール、新潟駅

朱鷺メッセ1階エントランスホールにて吉川農林水産大臣と、新潟駅にて吉川農林水産大臣、中原新潟市長とボランティアとの記念撮影が行われました。



朱鷺メッセにて記念撮影



新潟駅にて記念撮影

(9) 会場見学ツアー（アフターツアー）

- 日時 2019年（令和元年）5月12日（日） 午後0時～2時30分
- 場所 朱鷺メッセ
- 内容 フォトセッション、金属探知機、本会議場、コーヒブレイク、会場展示

会合の円滑な運営に協力いただいた児童・生徒やボランティアに会合の様子やその成果、新潟の取り組みなどについて知っていただくため、本会合終了後に会場見学ツアーを行いました。



ボランティアによるフォトセッション



本会議場の見学



コーヒブレイク体験



会場展示の見学



新潟市立高志中等教育学校の生徒とふむっ子記者 G20 取材班によるフォトセッション



コーヒーブレイク体験



本会議場の見学



コーヒーブレイク体験



新潟市立万代長瀬小学校の児童・保護者と新潟市立宮浦中学校の生徒によるフォトセッション



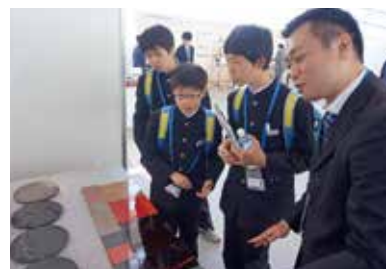
本会議場の見学



会場展示の見学



本会議場の見学



会場展示の見学

2. G20 新潟農業大臣会合開催後の活動

(1) G20 新潟農業大臣会合展

- 期 間 2019年（令和元年）5月23日（木）～28日（火）
- 場 所 朱鷺メッセ2階アトリウム

会合の概要をはじめ、会合期間中の会場内の様子や新潟の魅力PR、おもてなしの取り組みなどをパネルで紹介しました。



会合展の様子



農業・食の取り組みパネルを観覧



学生による提言の放映に見入る見学者



モザイクアート内の自らの写真を探す見学者

(2) 農林水産大臣から学生への感謝状贈呈

- 実施日 2019年(令和元年)6月17日(月)
- 場所 農林水産省大臣室(東京都千代田区)

全体会合において、G20各国へ持続可能な農業に関する提言(英語スピーチ)を行い、会合の成功に大きく貢献した新潟市立高志中等教育学校生徒たちの取り組みに対し、吉川農林水産大臣から感謝状が贈呈されました。



吉川大臣と生徒代表らとの記念撮影



提言の策定過程で得た経験や取り組んだ感想などについて歓談



大臣との歓談後、記者からの取材に応じる生徒代表

(3) ボランティアの集い

- 日時 2019年(令和元年)6月29日(土) 午前11時30分～午後1時
- 場所 ホテル日航新潟 30階鳳凰

会合で新潟の魅力のPRやおもてなしなどに従事したボランティアをねぎらうとともに、ボランティア同士の交流を深めていただきました。



中原市長によるあいさつ



ボランティアへのインタビュー



活動を振り返るボランティア



会合での活動の様子をスライド上映

コラム 2

国際会合の誘致について

<なぜ大規模国際会合を誘致するの?>

- 新潟では、2008年 G8 労働大臣会合を皮切りに、2010年 APEC 食料安全保障担当大臣会合、2016年 G7 新潟農業大臣会合、そして、2019年5月に行われた G20 新潟農業大臣会合と、4回連続で大規模国際会合を開催してきました。
- 大規模国際会合の開催は、国内外に新潟の様々な魅力を発信するまたとないチャンスであるとともに、宿泊施設や関係する民間企業等の受け入れ能力の向上などにも資するものです。
- 人口減少や地域間競争が激しくなる中、このような取り組みを継続していくことが、結果として交流人口の拡大や経済の活性化につながり、地域の拠点性の向上に寄与するものと考えていることから、新潟県・市が連携して国際会合の誘致や開催支援に取り組んでいます。



<協議会の役割>

- G20 新潟農業大臣会合開催推進協議会は、会合の円滑な開催に向けて、県民・市民とともに協力、支援を行うことを目的として、新潟県、新潟市のほか、経済・商工、農業・食、インフラなど幅広い分野からの参画を得て設立された団体です。
- 協議会の事務局を新潟市 2019年 G20 サミット推進課に置き、国や関係機関などと連携しながら、会合の開催周知や県民・市民の機運醸成、開催支援などの業務を行いました。